

平成26年度(2014年度)大学院国際言語文化研究科博士課程(前期課程)
国際多元文化専攻 入学試験問題

試験科目：論述(問題用紙は4ページ、設問は14問あります。)

第1ページ

以下の設問1～14から2問選んで、日本語で解答しなさい。そのうち、少なくとも1問は第1志望講座から選ぶこと。

多元文化論講座

1. 日本は世界のなかでも治安が良い国であるにもかかわらず、日本人の幸福度が世界ランク70位台半ばという事態にある。これは、日本人が、異質と見えるものに対して危険と判断し過剰に反応しているからだ、という説がある。この説に対する自分自身の考えを、具体例を挙げながら論じなさい。
2. 2011年に開催された日本記号学会の大会テーマは「ゲーム」であった。そこでの「ゲーム」とはテレビゲーム、ビデオゲーム、コンピュータゲームを指し、「私たちと世界との関係性の現在を把握するうえで、避けて通ることのできない媒介物と化している」と表現された。「ゲーム」のそのような「媒介」性について論じなさい。

先端文化論講座

3. ある学者によると、性の解放運動が起きた1960年代後半期は、機能性と物神崇拜からなる大衆の消費欲をそれまで一手に担ってきたものが、〈自動車〉から〈肉体〉へと転換した時期であった。以降人びとが幸福感を得るため、肉体に金銭を惜しまない時代が到来する。性と肉体の解放は、もはや商品価値に転換し得ないものがない世界を切り開いたのだろうか。あなたの考えを、具体例を挙げて論じなさい。
4. 「経済がグローバル化するなか、消費者の嗜好や価値観に適合せず、経済的な成功を収められない文化・芸術活動は、淘汰されてしかるべきである。」このような主張に対して、文化や芸術など、いわゆる人文系諸領域の研究を大学で行うことの意義を述べなさい。

平成26年度(2014年度)大学院国際言語文化研究科博士課程(前期課程)
国際多元文化専攻 入学試験問題

試験科目：論述

第2ページ

アメリカ言語文化講座

5. アメリカ合衆国の文学もしくは映像作品に見られる「反知性主義」について、具体例を挙げて論じなさい。
6. 第二言語習得において、流暢な発話を促進する要因にはどのようなものがあるか。「流暢さ」とは何かを考察した上で論じなさい。

東アジア言語文化講座

7. 日本語の親族名「お父さん」や「おばあさん」は直接相手への呼びかけに使えるのに対して、「父」や「祖母」は呼びかけには使えない。また職名についても「医者」や「医師」は呼びかけとしては使えず、「先生」が呼びかけに使われる。このような現象に対しどのような理論的説明が可能か。中国語、朝鮮・韓国語、ロシア語のいずれかの言語の具体例を挙げながら論じなさい。
8. ノーベル文学賞の選考基準を考慮しつつ、中国、ロシア(ソビエト)、朝鮮・韓国のいずれかにおける受賞者(朝鮮・韓国に関しては、ノーベル賞を受賞する可能性が高いとあなたが思う作家)の文学の特質について、具体的に論じなさい。

平成26年度(2014年度)大学院国際言語文化研究科博士課程(前期課程)
国際多元文化専攻 入学試験問題

試験科目：論述

第3ページ

ヨーロッパ言語文化講座

9. ある人種や階級やジェンダーが、芸術作品において、別の人種や階級やジェンダーを他者として構築し、自己の権力を維持しようとすることがある。作品を一つ挙げ、以上の点を具体的に論じなさい。
10. 隔離・収容・追放という措置は歴史的に様々な社会に存在し、それらには空間的、生物学的(人種的)、社会的、その他様々な形態があった。それらの措置は現代においても「治療」、「刑罰」、「治安維持」、「国境管理」など様々な名目のもとに行われている。時代・社会を特定した上で隔離・収容・追放の具体例を一つ選び、それとその背景について述べなさい。また、その措置がどのように正当化されている(されていた)かを、妥当性も含めて論じなさい。

ジェンダー論講座

11. 科学技術の進展は、ジェンダーやセクシュアリティにどのような影響を与えた、あるいは与えているであろうか。具体例を挙げて論じなさい。
12. 下に挙げるギルバート&グーバー『屋根裏の狂女』(Gilbert and Gubar, *The Madwoman in the Attic*, 1979)の一節が述べるような現象は現代社会でも起こり得る。例を挙げ、そのような対立を促す構造について論じなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本 Web ページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

平成26年度(2014年度)大学院国際言語文化研究科博士課程(前期課程)
国際多元文化専攻 入学試験問題

試験科目：論述

第4ページ

メディアプロフェッショナルコース

13. インターネット、とりわけソーシャル・メディアの普及によって、一般の人びとも比較的簡単に情報発信ができるようになった。それに伴い、新聞、テレビニュースなど従来の報道のありかたにも変化が求められている。このような状況を踏まえ、今後、プロのジャーナリストが果たすべき役割はどのように変化すべきか、あなたの考えを具体的に述べなさい。

14. 21世紀の社会的課題の解決に、民間非営利団体や社会的企業(以下「NPO等」)が大きな役割を果たすのではないかと期待されている。メディアとNPO等の関係について、NPO等によるメディアの活用や報道機関の運営などを取り上げて論じなさい。